

海と共に

逆境打開へ役職員一丸 組合員の生活向上を図る

年頭あいさつ

新年あけましておめでとございます。令和5年の新春を迎え、皆さまに謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

産業界を取り巻く環境は、依然として厳しい状況が続きました。漁場環境の悪化や沿岸水域の資源量の減少は、春漁のイサダ、コウナゴに加え、

て、イカやサンマ、秋サケについても記録的な不漁をもたらした。漁業用燃油価格の高騰は漁家経営を圧迫、それに加え、さまざまな国際秩序を大きく揺るがす事象の発生により、海上操業の安全は脅かされるなど、漁業者のみならず、業界全体が苦境に立たされております。

また、東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴うALPS処理水の海洋放出問題については、漁業者・国民の理解を得られない海洋放出には断固反対という姿勢を貫き、関係者の理解が得られる別の方法で処理することを求め続け、将来にわたって持続可能な漁業を確立すべく系統団体、行政機関との連携を強化し取り組んでいきます。



代表理事組合長 寺沢春彦

特に、新型コロナウイルス感染症がもたらした深刻な消費低迷の影響は、発生から3年を経過してなお完全回復には至らず、漁業のみならず、各産業、さらには国民生活に大きな影響を及ぼしております。

優賞・木村氏(仙南巨理) 準は坂本氏(七ヶ浜・代ヶ崎浜)



「献上のり」に選ばれた木村氏(右)と坂本氏(一月十一日)



4氏表彰 功勞、功績たたえ

全漁連の創立70周年記念功績者として今年度漁協系統功勞者の表彰式が昨年11月16日、東京都の東京會館で行われた。当組合

からは4氏が榮譽に輝いた。70周年表彰に前経営管理委員会会長の丹野一雄氏(74)と前専務理事の鈴木文昭氏(66)。漁協運動功勞者に松島支所運営委員長の高橋幸彦氏(68)、漁業振興功績者に前本所わかめ・こんぶ部会長の佐藤俊市氏(73)がそれぞれ選ばれた。

人事異動の必要性 先を見据える視点



当組合の持続的かつ安定的な漁協経営の実現に向けて、総務や人事などの業務課題を担当の渡辺裕季常務理事に聞いた。

渡辺裕季常務理事に聞く

—平成18年に当時の信漁連が発行した優先出資5億円を全額消却できると見通してまいりました。

—4月から公認会計士監査が義務付けられ、業譲渡を視野に入れた取り組みでもあり、3月末までの全額消却を目標にしている。

—組合員の減少などを受け、収益の低下が懸念されています。

—組合員の減少などを受け、収益の低下が懸念されています。

渡辺常務理事 全漁連の指導を受けながらスムーズな移行が可能となるよう、担当課のおのりや、担当課のおのりが連携しヒアリングへの対応など事前準備を進めている。監査手法が変わりさまざまな側面からハードルが高くなる部分もあるが、これまで以上に緊張感をもって業務を

渡辺常務理事 本所・総合支所・支所のいずれにおいても、同じ業務を長年にわたり継続するに、業務の属人化やマンネリ化を招き、個々の負担が重くなるとともに業務が停滞する可能性が高い。誰でも同じクオリティの仕事ができる態勢の構築が理想。浜々の実情などの違いなどから難しい面もあることは重々承知しているが、適材適所な人員配置を可能な限り行い、組織の活性化や人材育成、生産性の向上につながることを目指した

仙台湾に保護区域 同封チラシに詳細

技術賞 石田信英(宮戸) 千葉富夫(同) 星兵喜(七ヶ浜・松ヶ浜) 齋藤吉勝(同・代ヶ崎浜) 穴戸敏浩(仙南巨理)

海の子作文24人表彰

テーマ多彩、思いひしひし

女性連

宮城県漁協女性部連絡協議会(内海や多子会長)は1月5日、石巻グランドホテルで第38回「みやぎの海の子」作文



県知事賞に輝いた児童生徒3人と県水産林政部の長谷川新副部長

の表彰式を開き、入賞した小学生24人に賞状と記念品を贈った。

第一部(小学1〜3年生)、第二部(小学4〜6年生)、第三部(中学生)の3部門に県内29校から179点の応募があった。海で働く家族への感謝や、震災復興に向けた浜の歩み、環境・密漁問題などテーマは多彩。表彰式では各部門で最高賞の県知事賞に輝いた

阿部希美さん(石巻市立万石浦中2年)は、年を取って足腰が弱くなっても漁師を続ける祖父の生き方を通じて、豊かな海を大切にしたいとの思いを丹念につづった。社会的で穏やかな性格のため誰からも好かれ、「子や孫からの『ありがとう』や『おいしい』の一言、そして喜ぶ笑顔が何よりもうれしい」と口にした顔で漁に励む祖父のことが「大好きで、誇りに思う」と強調した。内海会長(塩釜市浦戸東部支所女性部長)は

「思いがひしひしと伝わってくる作品ばかりだった」とたたえた上で「家族と共に漁業を担ってくれば後継者不足も解消されるはず」と期待した。入賞作品は冊子にまとめられ、応募のあった学校や当組合の各支所などに配布される。

第38回「みやぎの海の子」作文入賞者

部	賞	題名	氏名	学校名	学年
第一部	宮城県知事賞	日本一のワカメとメカブ	及川 結愛	南三陸町立伊里前小学校	2年
	宮城県漁業協同組合長賞	ジジはうみが大きい	藤原 由依	気仙沼市立松岩小学校	2年
	宮城県漁業共済組合長賞	ぼくにもできた!!海の仕事	渡辺 恵介	石巻市立大原小学校	3年
	宮城県JF共済推進本部長賞	うみのおい	遠藤 玲汰	南三陸町立志津川小学校	3年
	日本漁船保険組合宮城県支所運営委員長賞	うみをきれいに	亀山 芽生	石巻市立大原小学校	2年
	宮城県漁業信用基金協理理事長賞	海のみつゆ	千葉 大輝	気仙沼市立中井小学校	2年
第二部	農林中央金庫仙台支店長賞	まもりたうみ	田中 里歩	南三陸町立志津川小学校	2年
	宮城県漁協女性部連絡協議会長賞	五十年ごきれいなうみへ	佐藤 英美	気仙沼市立松岩小学校	2年
	宮城県知事賞	未来へつづく	渡邊 羽海	石巻市立寄磯小学校	5年
	宮城県漁業協同組合長賞	わたしのお父さん	阿部 蘭	石巻市立東浜小学校	6年
	宮城県漁業共済組合長賞	おしいちやんと海	及川 杏心	南三陸町立名足小学校	4年
	宮城県JF共済推進本部長賞	うみの開くを通して感じたこと	及川 莉愛	南三陸町立戸倉小学校	5年
第三部	日本漁船保険組合宮城県支所運営委員長賞	大好きな海を守るために	及川由莉華	気仙沼市立大谷小学校	6年
	宮城県漁業信用基金協理理事長賞	おいしいホヤを全国へ	渡辺 隆介	石巻市立大原小学校	6年
	農林中央金庫仙台支店長賞	私のお父さんとお母さんの仕事	加藤 姫奈	気仙沼市立唐桑小学校	5年
	宮城県漁協女性部連絡協議会長賞	お父さんのメカブ	星 まつり	南三陸町立戸倉小学校	4年
	宮城県知事賞	祖父の姿	阿部 希美	石巻市立万石浦中学校	2年
	宮城県漁業協同組合長賞	海と共に生きる町	小林さくら	気仙沼市立唐桑中学校	3年

旬のカキに長蛇の列 3年ぶりに祭り開催

石巻3支所



第19回石巻かき祭りが昨年11月23日、石巻市総合運動公園(セイホクパーク石巻)で開かれた。新型コロナウイルスの影響で開催は3年ぶり。石巻湾産のASC(水産養殖管理協議会)認証カキがさまざまな調理法で振る舞われ、多くの来場者が旬の味覚を楽しんだ。テープカットを行い3年ぶりの開催を祝う関係者



人気を集めた蒸しがきの販売
「牡蠣の日」に合わせたイベントで、同認証を取得する当組合の石巻市東部、石巻湾、石巻地区の3支所と市などで組織する石巻かきブランド化事業委員会が主催。蒸しがき5千個のり入りのかき汁800食、かきチャウダー

1400食などを安価で提供した。今季のカキは秋の深まりとともに身が大きくなり、出来は上々という。この日の祭りは宮城けんき市実行委員会(会長・寺沢春彦組合長)との共催。特設ステージでは、令和5年春に閉校となる石巻市立東浜小と浜中の児童生徒らによる豊漁を願う獅子風流(ぶり)などが披露された。

込めて回を重ねてきた。安全安心な石巻のおいしいカキを堪能し、消費拡大のPRに協力してもらえれば」と期待した。

こども食堂に食品贈呈 新ノリ600袋、米なども

宮城県協同組合こんわ会

コロナ禍と物価高騰で困窮する家庭を支援しようと、当組合など4団体でつくる宮城県協同組合こんわ会は昨年12月8日、任意団体「みやぎこども食堂ネットワーク」に県産の新ノリ(焼きのり)など食品を贈った。こんわ会は当組合と県農協中央会、県生活協同組合連合会、県森林組合連合会で組織。焼きのり600袋(1袋10枚入り)や環境保米の新米(ひとめぼれ)150袋(1袋5kg入り)、乾燥しいたけ、フルーツポンチの缶詰などを生活支援物資として、ネットワークに加入する県内約50団

体のうち仙台市を中心とする23団体に分配した。仙台市泉区のみやぎ生協文化会館ウィズで贈呈式が開かれ、焼きのりを受け取った富谷市のNPO法人ふうとぼんく東北AGAIN(あがいん)の高橋尚子理事は「栄養豊富で保存も利き、とても便利な食材。しょうゆ餅を包んで食べてもきつ

協同組合論

北海学園大学 経済学部教授 濱田 武士

31



公正取引委員会が発行した『漁協と独占禁止法』水産物・水産加工品の適正取引推進ガイドライン(以下「ガイドライン」)をみたててみようか。販売事業を組合員に強制するな、組合員の販売行為を邪魔するな、あるいは組合員から不当に手数料をとるな、といった内容でした。

もちろん理解できません。また、その趣旨からすれば組合員の自由意志に基づく自由な漁獲物の販売が確保されるべきというの理解ができます。しかしながら、これを根拠に組合員の販売に漁協が何

漁協という民間組織が組合員の水揚金の一部を使って職員を雇い、実施しているのです。したがって、漁協が販売事業の利益を強制する以前に、組合員から管理費を徴収しな

公正取引委員会は、これらの漁協内規則を「独禁法違反のおそれ」がある、というのです。販売を自由にする、漁協は組合員の自己申告をもとに漁場管理や資源

協に対する水揚げ隠しは、これまでは脱税しないう限りは違法ではなかったのですが、新漁業法では全ての漁業者に報告義務がありますので、組合員が自ら行政に報告しない限り、水揚げ隠しは違法行為になる可能性があります。特に隠された魚種が、TAC(魚種で

法違反)、さらには組合員が漁業共済に加入している場合は詐欺行為に該当する恐れがあります。そういった違法行為や不正を未然に防ぐのも「漁協の管理機能」です。水揚げを隠されては、当局から違法性を疑われた場合も、その組合員を守ることはできません。そのためにも、組合員に対して日々の販売面で「指導」しなければなりません。

漁協職員がその「指導」を徹底すればするほど、組合員は自由を奪われる感覚になるため、漁協と組合員とのトラブル

に発展しやすいわけですから。残念ながら、そのことが公正取引委員会に「事業利用の強制」と読み替えられてしまうのです。これは悲劇です。漁協としては、漁場などの管理機能を果たし、組合員を守るためにやっているのに何が悪い」と言いたいかと思いま

「コロナの影響やさまざまな事情で困窮している家庭もあると聞くが、子どもたちには採れたての宮城のおいしい新ノリをいっぱい食べてもらいたい。少しでも貢献できれば」と話した。

高橋理事(左)に焼きのりを手渡す組合員課長

独禁法をどう解釈するかについては私は法律の専門家ではないので言及を避けませんが、こうした規制は「漁協の管理機能」を潰すことにならないかと危ぶんでいます。「公正かつ自由な競争を促進」する独禁法の趣旨は

も関わらないということになれば、そのことが、資源管理も含む漁場管理機能や、漁業権などの許認可に基づく組合員の管理機能をまひさせることになりかねません。これらの管理機能は、法的に定められているゆえに、

す。それゆえ、漁協が販売事業を通じて漁獲物を組合員から一元集荷することになり、他の市場への水揚げに関しては統送金などを基本としたり、また組合員が独自で販売する場合においては漁協から買い戻すという

管理をしなければなりません。この場合、水揚げの計量などの第三者チェックが入りません。となると、過少報告により水揚げが隠される可能性があります。実際に青森県ではクロマグロにそのような例がありました。漁

漁協職員がその「指導」を徹底すればするほど、組合員は自由を奪われる感覚になるため、漁協と組合員とのトラブル

に発展しやすいわけですから。残念ながら、そのことが公正取引委員会に「事業利用の強制」と読み替えられてしまうのです。これは悲劇です。漁協としては、漁場などの管理機能を果たし、組合員を守るためにやっているのに何が悪い」と言いたいかと思いま

「コロナの影響やさまざまな事情で困窮している家庭もあると聞くが、子どもたちには採れたての宮城のおいしい新ノリをいっぱい食べてもらいたい。少しでも貢献できれば」と話した。

高橋理事(左)に焼きのりを手渡す組合員課長

込めて回を重ねてきた。安全安心な石巻のおいしいカキを堪能し、消費拡大のPRに協力してもらえれば」と期待した。

高橋理事(左)に焼きのりを手渡す組合員課長

組合運営・職員業務の円滑な遂行を下支え

本所を訪ねて 総務部

組合組織としての、業務の遂行をさまざまな場面において担っている部署。組合員と接する機会が少ないが、実際に組合員と接する職員が業務を順調に行うために欠かせない。結果として各組合員が安心して漁業に携わることができる佐々木孝次長は話す。

「組合の運営を陰で支える部門であり、滞りなく仕事ができる初めてゼ

口、できなかったらマイナス評価。部員たちはその中でもモチベーションを保ち、一生懸命従事しており感謝しています。支所出身である佐々木次長は、支所の業務もたいへんだが、その先に業績という達成感がある。総務部の仕事にはまた違うたいへんさを感じるという。

現在は、信用事業譲渡に向けての準備や、今年



総務課、人事課、情報システム課、経理課の4つの課があり、各課とも、当組合の運営と職員の円滑な業務遂行を支えている。職員は総務課4人、人事課4人、情報システム課4人、経理課6人、計17人（産・育休中の職員、臨時を含む。兼務あり）。

その先の業務が順調に進む。「職員が皆さまの総務部への協力が組合の運営を円滑にし、間接的に組合員の皆さまのために必要になりますので、ぜひご協力をよろしくお願いします」。

組合の窓口、総務課

総務課の大きな仕事は、総代会や総会開催の運営と準備。通常総代会が年1回あるほか、案件があれば臨時総会を開催する。毎月の理事会の開催運営にも携わる。

そのほか、組合員からの出資金の管理も業務のひとつ。また定款、規約、規程の改廃に係る手続きなども重要な仕事である。

車両の管理、職員が使用する備品や機器の手配や管理、車両の保険、建物の共済など、業務は多岐にわたる。役員のスケ

幅広い人材の育成 人事課

職員の採用、異動、そして給与計算、健康診断の管理などを担っている。人事課長と情報システム課長を兼務している。二瓶健次長は、人材育成の必要性を強く感じている。単一漁協として、定期的な人事交流、併せて異動、各位別の研修などをしている。研修は新しいコロナウイルスの感染拡大でここ数年滞っていたが、時期をみて再開していかなくてはならないと痛感しているという。

そうした人事交流、研修などを経て、さまざまな部署で活躍できるオーラウンドな人材を育てていくのが人事課としての理想だ。専門職化せずに潤滑にローテーションを組んでいく方向を目指している。「そうすることで宮城県漁協全体の人材能力の底上げにつながると思っています」。

新規採用は、売り手市場となり、厳しさがあるが、令和5年度入職の採用はしっかりとできている。「漁業者さんと接することも多い職場ですから、元気で働きはきたる人を望んでいます。そこを軸として、仕事は、入職してから先輩から学んでいけばいい」と二瓶課長は話す。

効率的な業務へ 情報システム課

システムとしてできる業務はできるだけそちらに移行することで、作業効率化し、職員の負担を減らすことができる。それを目的に、合併以降システム化を進めてきた。

今年度から導入した勤怠管理のシステム化もそのひとつで、職員の勤務時間をパソコンで管理することにより、時間管理もしやすく、明確化・効率化できるようになった。職員のほうもシステムに慣れてきている。今後職員負担を軽減するよう、システム構築をよりいっそう図ってきたいとしている。

大切なお金を管理 経理課

言わずと知れた、お金の管理をする部署。毎日行う大きな仕事は、組合員が水揚げした水産物の代金決済がある。ほかに経費の支払いや取引先からのお金の回収、ほかに組合員が利用した資材などに関する引き落としなどの仕事もある。

さらには毎月の月次仮決算など、帳簿を閉めるという作業もあるため、資料の作成、収支損益の内容分析なども行っている。年度末の決算に向けて作業もなかなかのボリュームがある仕事だ。

「あまり表に出ない、裏方の仕事ではあります。仕事の内容も、地道なルーティン的な作業が多いのですが、最終的に業務報告書、決算書をつくるというのが大きな目標です。それが出来上がったときには達成感があります」と木村敏光課長は話す。ときには億のお金を動かすこともあり、緊張を強いられる部署だ。

宮城県からの優先出資の消却に向け、仕訳を起して会計帳簿に計上・作成するというのが、年度内の大きな仕事。今年10月からのインボイス制度の導入に当たって、財務会計システムの改修作業や、各支所との運用ルール策定なども検討中だ。

「経理の仕事は、けっこう専門的な知識も必要ですが、職員の皆さんにわかりやすいマニュアルのようなものを作って提示することができたらいいかなと思っています。支所に配属された新入職員の方なども、それを読めば、完璧とまではいなくてもなんとなくわかるような。そう木村課長は話していた。

個々の能力や事情などに直面する部署として、二瓶課長は「できるだけ一方的にならないよう気をつけて人と接しています。相手の考えも拾って、ちょうど落としどころがいろいろ見つけたい」と話している。



佐々木孝次長
二瓶健次長 課長
木村敏光 課長
齋藤幸夫次長代理(課長)

乾のり共販所の修繕完了 耐震補強、衛生にも配慮

塩釜総合支所

当組合は今年度、塩釜総合支所・乾のり共販所の大規模修繕工事を実施した。築40年近くが経過して老朽化が著しいとして、耐震補強や衛生管理の向上などを図った。

工事は昨年6月1日着工、10月31日に完了した。総事業費は約2億円。昭和59年に完成した1階の集出荷所と2階の入札場の傷んだ床や壁を張り替えたほか、杭基礎の頭部補強、屋上の防水、搬出入用ベルトコンベヤーの交換、駐車場のアスファルト補修などを行った。

入札場の照明は発光ダイオード(LED)に切り替え、明るい光で乾のり製品の見栄えが良くなったと買受人からも好評。消費電力を抑えることで二酸化炭素(CO2)排出量の削減にもつながる。トイレの洋式化や、ブロック塀を撤去してフェンスを設置するなど、安全対策も施した。

床の張り替えなどでより衛生的になった集出荷所



外壁の洗浄、塗装も実施



「おこわり」 広報「海と共に」は今年から年2回の発行となります。次回発行は7月末の予定です。